

医療プロフェッショナリズム II

(多職種連携とチーム医療)

1 ユニットの概要と実習目標

医療従事者としてのプロフェッショナリズムを学ぶために、多職種連携とチーム医療に関する学習を深める。医学生は実習先で医療チームの一員と見なされる。そこで、高齢者体験やその観察を基軸とした実習などを通して他者と自分自身についての認識・理解を深め、多職種連携とチーム医療、その中での医師の役割について学修し、プロフェッショナリズムへの意識向上を図る。

2 金沢医科大学の到達目標 (アウトカム)

- ①患者中心・コミュニケーション・チーム医療
- ②医学知識と技能
- ③豊かな人間性と倫理観
- ④生涯学習
- ⑤地域医療・社会貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 ユニットの到達目標 (アウトカム)

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- (1) 多職種連携・チーム医療の概要を説明することができる。(①)
- (2) 多職種連携・チーム医療における医師の役割を述べる。(①②)
- (3) 多職種連携・チーム医療における看護師の役割を述べる。(①②)
- (4) 用具を用いた高齢者体験を通し、加齢に伴う人間の身体的・精神的・社会的側面での変化を追体験し他者への理解を深める。(①②)
- (5) 標準予防策の目的を理解して、自立して実施できる。(②④⑥)
- (6) 「観察」の目的や方法を理解して、日常生活において実施できる。(②⑥)
- (7) 自己肯定感の向上に取り組むことができる。(①②③)

4 学習方略

映画鑑賞や実習の体験から、学生自らが考え学修する。

「医療プロフェッショナリズム II」の全ての授業に関してポートフォリオを作成し、自ら学修を計画し自分の学修をモニターする。ポートフォリオを活用し、自身の学修を振り返り(省察: reflection)、改善する。学修の成果を証拠(エビデンス: evidence)として整理してポートフォリオに綴じ、自身の学修内容の総合的な評価を受ける。ポートフォリオをもとに、自身の学修内容を説明できるようにする。

- ・電子シラバスに掲載されている資料は全て必ず事前に印刷してポートフォリオに綴じ、予習して講義に臨む。
- ・講義や実習中は重要な事項をルーズリーフなどに書き込み、ポートフォリオに綴じる。
- ・予習や復習時に自ら作成した資料類を整理し、全てポートフォリオに綴じる。

5 評価

| 評価区分 | 評価項目 | 評価の対象 | 評価割合 |
|--|---|-------|------|
| 形成的評価 | 学習態度(受講態度・実習態度・身だしなみ、レポートおよびポートフォリオ作成、提出状況) | 態度 | / |
| | レポート(理解力、思考力、説明能力) | 知識・技能 | |
| 総括的評価 | 実習 ①実習態度(身だしなみ含む) ②レポート | 技能・態度 | 50% |
| | 事前学習・実習振り返り | 知識・態度 | 30% |
| | ポートフォリオ | 知識・技能 | 20% |
| | | 合計 | 100% |
| <p>1) 学習成果は実習（態度やレポート）、ポートフォリオなどから総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習は必須であり、正当な理由なく実習が未修了あるいは不合格となった場合は、ユニット成績が不可となる。また、最終判定試験の受験資格を失う可能性がある。なお、実習日程は変更となる可能性があるので注意する。 ・教員が定めた正式な書式（実習要項参照）に従わないレポートは不合格とし再提出対象となる。 ・レポートおよびポートフォリオが期日までに提出されない場合は、減点対象となる。 ・正当な理由なくレポートおよびポートフォリオが提出されない場合は、ユニット成績が不可となる。また、最終判定試験の受験資格を失う可能性がある。 ・不正なコピー&ペーストは剽窃と見なす。剽窃はカンニング同様の不正行為であり、ユニット成績が不可となる。 <p>2) 随時電子シラバスで必要な情報を得ること。電子シラバス未アクセスによる減点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、パソコンからのアクセスが必要である。スマートフォン・タブレットからのアクセスは認めない。 <p>3) 実習中、医学生として不適切な態度（実習要項参照）を禁ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切な態度が見られた場合は減点対象となり、ユニット成績が不可となる可能性がある。 <p>4) ポートフォリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオは学習成果の集積である。自己省察を通じて知識、技能、態度あるいは理解の向上、およびプロフェッショナルとしての成長を示す証（エビデンス）となる。 ・学習内容、自学の内容を整理・ファイリングして学習に活用する。ファイルは適時確認のために回収するので、いつでも提出可能な状態にしておくこと（提出日直前の連絡もあるので注意する）。評価はユニット終了時に行う。 ・各資料は、ファイルする意味を考えて選択する。 ・テキストや参考書、他人のノートのコピーなどは評価の対象とならない。 ・配布物そのままや、電子シラバスの教材資料を印刷しただけで、書き込みもなく、学習に利用した形跡がない場合は評価の対象とならない。整理された自己学習のエビデンスであることが重要である。 ・電子端末経由で書き込み学修した場合は、自分で印刷してファイリングする。 | | | |

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前・事後学修について

- 1) 事前に電子シラバスにアクセスする。電子シラバスには予習範囲などが示されているので予習する。提示されている資料などは必ず印刷し、授業に持参する。
- 2) 授業終了時、当日中に復習を行い、学習内容を整理してポートフォリオファイルに綴じる。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習 45 分、復習 45 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの途中で行うレポートを含む形成的評価については、授業中あるいは電子シラバス等で適宜フィードバックを行う

9 教育担当者

| | | |
|----------|-------|----------------------------|
| ユニット責任者： | 堀 有行 | 医学教育学 |
| 担当教員： | 堀 有行 | 医学教育学 |
| | 久司 一葉 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学（実習責任者） |
| | 澁谷 良穂 | 一般教育機構 英語 |
| | 三浦 聖子 | 医学教育学 |
| | 八木 邦公 | 医学教育学 |
| | 石丸 章宏 | クリニカル・シミュレーション・センター |
| | 石浦 夕奈 | クリニカル・シミュレーション・センター |
| | 山下 敬吾 | クリニカル・シミュレーション・センター |

10 参考図書・文献

特になし。参考情報源は各授業・電子シラバスで提示する。

その他

実習中の万一の事故等については、医学生総合保険を適用する。

以 上

第2学年

医療プロフェッショナリズムⅡ

| 学期 | 学期 | 回数 | 開講日 | 時限 | 区分 | 講義・実習内容 | コアカリ項目 | 講座名 | 教員名 |
|----|----|----|----------|----|----|-------------------------|----------------------|----------------------------------|-------------------|
| 前 | 前 | 1 | 7月24日(月) | 1 | 講義 | 自己肯定感と思いやりプログラム2 | A-1 | 医学教育学、 一般教育機構 医療コミュニケーション学、英語 | 堀、八木、三浦、 澁谷、久司 |
| 前 | 前 | 2 | 7月24日(月) | 2 | 講義 | 自己肯定感と思いやりプログラム2 | A-1 | 医学教育学、 一般教育機構 医療コミュニケーション学、英語 | 堀、八木、三浦、 澁谷、久司 |
| 前 | 前 | 3 | 7月24日(月) | 3 | 講義 | ガイダンス、チーム医療、実習オリエンテーション | A-1,A-3 | 医学教育学、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 堀教授、久司講師 |
| 前 | 前 | 4 | 7月24日(月) | 4 | 講義 | 「ピア～まちをつなぐもの～」視聴 | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 5 | 7月24日(月) | 5 | 講義 | 「ピア～まちをつなぐもの～」視聴 | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 6 | 7月24日(月) | 6 | 演習 | 多職種連携の理解 ① | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 7 | 7月25日(火) | 1 | 実習 | 多職種連携の理解 ② | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 8 | 7月25日(火) | 2 | 実習 | 多職種連携の理解 ③ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 9 | 7月25日(火) | 3 | 実習 | 多職種連携の理解 ④ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 10 | 7月25日(火) | 4 | 実習 | 高齢者疑似体験／標準予防策／観察概論 ① | A-1,A-3, A-6-3)-② | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | CSCスタッフ、久司講師 |
| 前 | 前 | 11 | 7月25日(火) | 5 | 実習 | 高齢者疑似体験／標準予防策／観察概論 ② | A-1,A-3, A-6-3)-② | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | CSCスタッフ、久司講師 |
| 前 | 前 | 12 | 7月25日(火) | 6 | 実習 | 高齢者疑似体験／標準予防策／観察概論 ③ | A-1,A-3, A-6-3)-② | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | CSCスタッフ、久司講師 |
| 前 | 前 | 13 | 7月26日(水) | 1 | 実習 | 観察 実習 ① | A-1,A-3 | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 14 | 7月26日(水) | 2 | 実習 | 観察 実習 ② | A-1,A-3 | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 15 | 7月26日(水) | 3 | 実習 | 観察 実習 ③ | A-1,A-3 | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 16 | 7月26日(水) | 4 | 実習 | 観察 実習 ④ | A-1,A-3 | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 17 | 7月26日(水) | 5 | 実習 | 観察 実習 ⑤ | A-1,A-3 | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 18 | 7月26日(水) | 6 | 実習 | 観察 実習 ⑥ | A-1,A-3 | CSC、 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 19 | 7月27日(木) | 1 | 実習 | 他者を知る ① | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 20 | 7月27日(木) | 2 | 実習 | 他者を知る ② | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 21 | 7月27日(木) | 3 | 実習 | 他者を知る ③ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 22 | 7月27日(木) | 4 | 実習 | 他者を知る ④ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 23 | 7月27日(木) | 5 | 実習 | 他者を知る ⑤ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 24 | 7月27日(木) | 6 | 実習 | 他者を知る ⑥ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 25 | 7月28日(金) | 1 | 実習 | 医プロII まとめ ① | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 26 | 7月28日(金) | 2 | 実習 | 医プロII まとめ ② | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 27 | 7月28日(金) | 3 | 実習 | 医プロII まとめ ③ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 28 | 7月28日(金) | 4 | 実習 | 医プロII まとめ ④ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 29 | 7月28日(金) | 5 | 実習 | 医プロII まとめ ⑤ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |
| 前 | 前 | 30 | 7月28日(金) | 6 | 実習 | 医プロII まとめ ⑥ | A-1,A-3 | 一般教育機構 医療コミュニケーション学 | 久司講師 |